

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	選択
担当教員			
辰口 和保、植田 一夫			
火2			
添付ファイル			

科目の概要	<p>現代学校の授業に関わる課題を学生自身の経験などをもとに明らかにし、その課題に応えるために、どのような授業論を構築すればいいかを各教科や総合的な学習の時間の特質を生かして考察する。それをもとにして、学生それぞれが授業を構想する。(植田担当)</p> <p>また、授業におけるメディア利用とプレゼンテーションを取り上げ、情報技術を利用した教育の方法について学び、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得する。また、教育と著作権の関係について、およびe-Learningの実効性を高めるための「インストラクショナルデザイン」についても取り上げる。(辰口担当)</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション この授業について 授業の概要、班づくり、自分たちの受けてきた授業のイメージ</p> <p>第2回 現代学校に於ける授業が持つ課題を明らかにする 自分たちの受けてきた授業がどんなものだったかを明らかにし、教えから学びに向かう授業の課題を明らかにする。</p> <p>第3回 授業の基本的課題や具体的な理科や算数の授業を通して課題を乗り越える視点をつかむ 理科や算数の具体的な授業を体験して、そこに共通する授業を面白くするポイントをつかむ。</p> <p>第4回 社会や国語の授業を通して課題を乗り越える視点をつかむ 社会や国語の具体的な授業を体験して、そこに共通する授業を面白くするポイントをつかむ</p> <p>第5回 総合学習をどう構想するかという考察を通して考察する 総合学習の具体的な授業を体験し、どのように総合学習を構想すればよいのかを考察する。</p> <p>第6回 学生自身が学年と教科を設定し授業の構想に着手する 今までの授業の中でつかった授業を面白くするポイントを生かし、学生自身が授業を構想し、指導案にまとめる。</p> <p>第7回 出来上がった授業構想のいくつかを発表し、質疑を通して授業づくりの視点をつかむ① 学生の作った指導案のいくつかを提案し、質疑応答を通じて授業づくりのポイントをつかむ。</p> <p>第8回 出来上がった授業構想のいくつかを発表し、質疑を通して授業づくりの視点をつかむ② 学生の作った指導案のいくつかを提案し、質疑応答を通じて授業づくりのポイントをつかむ。</p> <p>第9回 前時の続きを若干行い、後半は現代学校の授業における課題を乗り越える視点と技術を明らかにする。 実際に作った指導案をもとにした考察と今までの講義の中で明らかになったことから授業のまとめを行う。</p> <p>第10回 教育における視聴覚メディア利用 教育における視聴覚メディア利用の歴史的な動向とGIGAスクールやプログラミング教育を含めた現代のICT利用の状況について</p> <p>第11回 プレゼンテーション機器の操作技術とプレゼンテーション作成技術 PowerPointによるスライド作成を中心とした、授業資料としてのプレゼンテーション作成技術について</p> <p>第12回 遠隔授業とICT技術 Microsoft TeamsおよびZoomを中心とした遠隔授業で取り扱われるICT技術について</p> <p>第13回 著作権についてー学校教育と著作権 学校教育における著作権の取り扱いとICTの教育への導入によるその変化について</p> <p>第14回 e-Learningと教授システム学ー学習システムとインストラクショナルデザイン 効率的な「学習」のしくみとは</p> <p>第15回 全体のまとめ 授業全体の振り返りとまとめ・課題作成</p>
学習到達目標	<p>(植田担当) 現代学校の授業の課題とその課題を乗り越える視点をつかみ、授業づくりへの挑戦をもとに技術を身につける。</p> <p>(辰口担当) 情報技術を用いた授業づくりと資料作成の方法を身につける。 授業で利用されるICT機器の取り扱い方を身につける。 遠隔授業を含めたICT機器を活用した授業の方法を身につける。 学校教育における著作権の取り扱いについて理解する。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】 第1回をオリエンテーション、第15回を全体のまとめとし、2～9回を植田、10～14回を辰口の担当とするオムニバス形式として行う。ディスカッションとプレゼンテーションを通して学生それぞれが授業を構想し、構想し</p>

	<p>た授業で利用する教育コンテンツを作成する。</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 授業内で「ディスカッションとプレゼンテーションを通して学生それぞれが授業を構想」することで取り入れている。</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】 「構想した授業で利用する教育コンテンツを作成」するうえでICT技術を利用するとともに、授業の上でもMicrosoft Teamsなどのツールを使い、双方向の授業を実践する。</p> <p>【その他特記事項】 特になし</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 平常点およびレポート（または提出課題）</p> <p>【割合】 平常点40%、レポート（または提出課題）60%</p>
教科書・テキスト	「学校ってボクらの力で変わるね」高文研（植田）
参考書	シリーズ教師のしごと4「学びに取り組む教師」 全生研常任委員会企画・竹内常一編集代表・子安潤、坂田和子編著 高文研 2016年 「ICT教育環境整備ハンドブック2020 改訂版」 一般社団法人 日本教育情報化振興会編著
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	授業の復習は毎回必ず行い、最終レポート・課題に反映させること
履修上の留意事項	OAENS利用者登録を行っていること。（「情報処理」を履修していることが望ましい。）
オフィスアワー	植田：金曜日13:00～14:30 辰口：水曜日13:00～14:30
課題に対するフィードバックの方法	対面授業の中で、または、メールやMicrosoft Teamsを介して
実務経験	
その他	